

青森県八戸市

【3期計画：平成30年12月～平成36年3月】

- ・江戸時代に八戸城を取り巻く城下町が形成。現在まで街並みの骨格は変わることなく存続。
- ・昭和4年町村合併により八戸市が誕生。昭和39年新産業都市の指定を契機に都市化が進展。
- ・平成29年1月中核市に移行。同年3月近隣8市町村で八戸圏域連携中枢都市圏連携協約を締結。
- ・人口231,257人(平成27年国勢調査)、面積305.56km²

【前期計画(平成25年4月～平成30年3月)の概要】

- 八戸まちなか広場や新美術館、八日町地区複合ビルの整備が事業完了に至らなかったことや、さらには魅力的な店が少ないなどの意見も多く歩行者通行量の目標値に届かなかった。
- 八日町地区複合ビル整備事業を始めとしたマンション新築事業が未着手となったほか、自然動態の減少により、居住人口の割合が目標値に届かなかった。
- 中心商店街空き店舗・空き床解消事業及びはちのへ創業・事業承継サポートセンター事業の実施により、空き店舗への新規出店者が増えたことで空き店舗・空き地率は改善した。

【中心市街地の課題等】

○多様な都市機能が集積した活力あるまちづくり

八戸ポータルミュージアム「はっち」前に比べると、それ以外の通りの歩行者通行量は停滞している。新美術館やスケート場等の整備と、文化・観光・スポーツの振興策による各施設の効果的な活用により、一層来街を促し、回遊の仕組みを構築することによる賑わいの創出が必要。

○地域経済の活力向上

未だに目立つ空き店舗等が、エリア価値向上の妨げとなっていることから、創業支援や企業誘致等により、日中の魅力ある店舗の出店やオフィスの進出・拡充を目指すとともに、夜の飲食店舗等の集積を活かしたナイトマーケットの充実を図ることが必要。

○移動しやすい、暮らしやすいまちづくり

中心市街地の居住人口は全市より減少傾向にあることから、居住誘導施策の強化や民間マンションなど良質な共同住宅の整備などを進めるほか、まちの利用者にとって暮らしやすいまちづくりを進めることが必要。

【前計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
来街者を増やす	歩行者通行量 (平日・休日の合計、8地点)	58,041人 (H24)	65,000人 (H29)	57,939人 (H29:未達成)
定住を促進する	市全体に占める中心市街地の 居住人口の割合	1.89% (H24)	1.95% (H29)	1.84% (H29:未達成)
空き床を解消する	空き店舗・空き地率	19.2% (H23)	13.0% (H29)	10.3% (H29:達成)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値(H29)	目標値(H35)
街なかの賑わい創出 (来街機会の創出と回遊性の向上)	①歩行者通行量(平日・休日の合計、11地点) ②公共施設来館者数 (八戸ポータルミュージアム・美術館・屋内スケート場・ 八戸ブックセンター・八戸まちなか広場)	①66,653人 ②1,167,000人 (過去3年の平均値)	①75,600人 ②1,968,000人
起業家支援と魅力ある 商店街・オフィス街づくり	空き店舗・空き地率 (参考指標) ①創業等支援件数 ②誘致企業就業者数	11.6% ①7件/年 ②△16人 (H29～30年)	8.2% ①年平均10件 (H30～35年度) ②230人 (H30～36年)
街なかの居住推進と 移動の利便性向上	中心市街地における人口の社会増減数	△51人 (H25～29年度)	70人 (H30～35年度)

【目指す中心市街地の都市像】

多様な機能が集まり、多彩な人々が行き交う、八戸らしい文化を育むまち

街なかの賑わい創出 (来街機会の創出と回遊性の向上)

【主要事業】

- ・美術館整備・運営事業
- ・(仮称)八戸市屋内スケート場建設・運営事業
- ・はちのへマチナカ活性化プロジェクト事業
- ・八戸まちなか広場運営事業
- ・花小路整備事業

など

起業家支援と魅力ある 商店街・オフィス街づくり

【主要事業】

- ・八日町地区複合ビル整備事業
- ・中心市街地商業機能誘致事業
- ・中心商店街空き店舗・空き床解消事業
- ・はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業
- ・まちなか生業応援事業
- ・横丁活性化事業

など

街なかの居住推進と 移動の利便性向上

【主要事業】

- ・八日町地区複合ビル整備事業【再掲】
- ・はちのへ空き家再生事業
- ・ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業
- ・まちなか住宅取得支援事業
- ・旧柏崎小学校跡地広場整備事業
- ・八戸都市計画道路事業3・5・1沼館三日町線

など

八戸市中心市街地活性化基本計画の事業概要

中心市街地面積：137ha

中心市街地人口：4,735人(平成29年)

エリア全体での事業：③⑦⑧⑩⑪⑫⑬

街なかの賑わい創出 (来街機会の創出と回遊性の向上)

①美術館整備・運営事業

新美術館を整備し、人づくりやまちづくりに資する新たなプログラムを実施するとともに、「はっち」など他の文化施設との回遊が生じるよう、連携し運営する。(平成32年度末開館予定)

②(仮称)八戸市屋内スケート場建設・運営事業

国際大会が可能な国内3番目のスピードスケートの拠点施設を整備し、国内・国際競技大会や大規模イベントの開催など、年間を通じ多目的な利用を図り、中心市街地への集客を促す。(平成31年秋頃供用開始予定)



③はちのへマチナカ活性化プロジェクト事業

八戸の食や八戸圏域の特産品等を扱う「マチニワマルシェ」を開催するほか、マチニワに隣接する花小路やみろく横丁、ブックセンターとの連携により回遊性の向上を図る。

④八戸まちなか広場運営事業

午前6時から午後11時まで自由に過ごせる広場で新しいアクティビティを生み出すとともに、「はっち」とのイベント連携など他の文化施設と一体的に運営し賑わいを創出する。

⑤花小路整備事業

商業者等からなるまちづくり協議会が、歩行者専用空間「花小路」の段差解消、路面美装化を実施。商業機能の充実といった波及効果が期待される。

起業支援と魅力ある 商店街・オフィス街づくり

⑥八日町地区複合ビル整備事業

旧商業ビル跡地に、民間事業者により、商業・居住機能を有する複合ビルを整備する。

⑦中心市街地商業機能誘致事業

(株)まちづくり八戸が八戸まちなか広場(マチニワ)や花小路周辺エリアへの商業機能を誘致する。



①【新美術館】
美術作品の収集や展示に留まらないエデュケーション機能を組み込んだ施設。



【八戸ポータルミュージアム(はっち)】
複合交流施設で通年でイベントを開催する。



②【長根公園】
市体育館、市民プール、野球場、武道館等が整備された公園。



【横丁】
狭い通りや路地に小さな飲食店が軒を連ねる個性的な8つの横丁が集積。



⑥【八日町地区複合ビル】
商業・居住機能を有する施設。



④【八戸まちなか広場(マチニワ)】
朝6時から夜11時まで自由に過ごせる施設。



【ブックセンター】
本に関する新たな公共サービスを提供し本のまち八戸を推進する拠点施設。

- 中心市街地領域
- 文化機能による新たな集客・回遊エリア
- スポーツによる活性化エリア
- 商業オフィスエリア
- ナイトマーケット
- 文化施設
- 歩行者通行量調査地点
- 空き店舗・空き床解消事業補助金対象道路

⑧中心商店街空き店舗・空き床解消事業

店舗改装経費の一部を助成し、空き店舗への出店を促す。まちづくり団体等に対象を広げるなど、支援を拡充する。

⑨はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業

創業及び事業承継の相談窓口を設置し、出店等の支援を行う。

⑩まちなか生業応援事業

商店街の課題解決に資するソフト事業へ支援を行う。

街なかの居住推進と 移動の利便性向上

⑥八日町地区複合ビル整備事業【再掲】

⑪はちのへ空き家再生事業

空き家の実態を調査し、空き家のポータルサイトを構築。空き家の利活用を促進する。

⑫ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業

大都市圏等からの移住を希望する若年者世帯やひとり親世帯のUIターン就職の促進を図る。

⑬まちなか住宅取得支援事業

新築・取得費の一部を助成し、居住を誘導する。

⑭旧柏崎小学校跡地広場整備事業

町内単位で作成する八戸三社大祭の山車の制作場所を郊外から移転し、広場を整備することで、伝統文化の継承、地域自治の振興と居住の推進、観光機能の充実を図る。